

旧安間家住宅 (現武家屋敷安間家史料館)

きゅうあんまけじゅうたく

市指定

所在地：西新町



篠山城の外堀の周縁には、その身分によって武家屋敷が配置されていた。

安間家は篠山藩主青山家の家臣で、「高12石3人扶持」の禄を得ていた。その住宅は通称「御徒土町」と呼ばれる武家屋敷群の一角にあり、標準的な徒士^{かち}住宅である。茅葺で曲屋形式の母屋と瓦葺の土蔵が残っており、当時の武家の暮らしを伝えている。